

平成 31 年度一般入学試験問題

国語

(2月7日)

開始時刻 午後 1 時 00 分

終了時刻 午後 2 時 00 分

注意事項

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- この冊子は 21 ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあった場合には申し出てください。
- 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

① 受験番号欄

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名とフリガナを記入してください。

- 三 と 四 はいずれか一方を選択してください。両方解答した場合は高得点の方を合否判定に使用します。

- 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、10 と表示のある問い合わせに対して
Ⓐと解答する場合は、次の(例)のように解答番号 10 の解答欄のⒶにマークしてください。

(例)

10	Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ
----	-----------

- 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

一 次の文章を読んで、後の問一～十に答えなさい。

私は縁あつて山ではニホンザルを含む靈長類の生態・社会・保全の調査・研究をし、海ではオットセイ・トド・アザラシなどの鰐脚類を追いかける仕事にも携わつてゐる。人間は山でも海でも生活に必要なものを見つけて、資源として利用するのだが、遅ればせに資源のあり方がまったく異なることに思い至つた。山では圧倒的に森林資源で、所有権が明確な国有林、公有林、私有林のいずれでも莫大な資本をトウカして經營する。国有林や公有林では一応形式的にでも国民の意見を反映させる場を設定している。海では所有権もないのに、したがつて資本トウカも必要とせずに莫大な漁業資源を漁協傘下の漁家が獲得し、利益を得る。海の資源に関して国民の意見を反映させる機会はほとんど用意されていない。なぜこのような資源の利用形態が出来上がつたのだろうかという素朴な疑問が頭から離れずに居座つたままである。

山と海をうろつきながら、いつも頭の隅にこびりついた疑問はなかなか解決の見通しもなく、今に至つた。このような疑問に真正面から挑みかかつても、思わしい成果は得られないだろう。したがつて、あちこちをうろつきながら、気づいた出来事から少しづつ、巨大なカラまりあつた糸口を解きほぐす作業を始めることにする。

最近の野生動物の話題で目につくのは、いかにしてシカ肉やイノシシ肉を美味しく食べられるか、シカやイノシシの畠荒らしを効果的に減らす柵をどのように張つたらよいか、といったことに集中している。どれをやつて悪いとは思わないが、これらをやつたら、被害が目に見えて軽減されるといわんばかりの報道が連日マスコミに流される。こんな報道は一〇年、あるいは二〇年前から垂れ流しされていたと思うのだが、被害は一向に減らず、むしろ増加傾向にある。病気で言えば、X でしかないこれら的方法ではコンチできないことが事実を持つて目前に示されている。ではどうすればいいのか。なぜシカは増えるのかその原因追究が必要で、シカ個体群の増加要因を断ち切る方策を模索することが求められている。シカの生育環境はどのような状態なのか、シカを含めた生物の諸関係の動態、生物群集はどうなつているのかなどが追究されるべきだろう。

私はニホンザルを長年にわたつて追いかけてゐるので、シカやイノシシで問題になつてゐる生物群集の動態をサルを仲立ちにして、巨大なカラまり合つた問題の糸口を探り出したいと考えた。志賀高原では広大な落葉広葉樹林を伐開してスキー場を造り、冬の観光をもくろむ地元企業、さらに冬季オリンピック開催を旗印にホテル観光開発をもくろむ大企業、それらの活動に有効な規制をかけずに傍観する官僚などが群がつてサルの生息環境を破壊してゆく。世界遺産にも登録されている白神山地では国有林の落葉広葉樹林を大面積に伐採して、そのあとに針葉樹を植える。これではサルもクマも、いろんな動物達は棲むことができなくなる、食べるものがなくなる。彼らは仕方ないので、畑に出てきて、あるいは果樹園に出てきて人間様の食べ物を頂くことになる。すると、鉄砲でとどめを刺されてあの世に送られる始末だ。

私はそれら人間族の一人なのだが、連日のようにサルの群れを追って、彼らの生活をのぞき見ていると、サルの目で人間がしていることを見る癖がつく。人間がいかにサルの生活を次から次へとぶち壊しているかを目の当たりにすることになる。人間生活にも響くようなことが続く。一九六〇～七〇年代、白神山地の国有林伐採では落葉広葉樹林を切った後にスギ・ヒノキを植えた。それで、森林の保水力が減ったのか、河川の流量が減り、田圃たんばに入れる水量が不足する事態まで起こった。ところが、一九九〇年代に入ると、植えた針葉樹の間伐や枝打ちを怠り、昼間でも暗い、枝が密生してとても入り込めない、Y のような林を作り上げた。こんな林に棲める動物はいないし、林業としても成り立たない森林を作り出した。

一九九〇～二〇〇〇年代になると、地域に暮らす人間族は次第に数を減らし、集落周辺の里山を利用しなくなり、野生動物が自由に生活できるよう

に変化した。彼らは個体数を増やし、隣接する耕地荒らしも続けた。人間と野生動物の共存が可能なのか、両者の知恵の出しどころであるわけだ。

海E でも同じような事件が続いていた。海の獣は個体数が多く、良質の毛皮を持っていて、一八世紀に乱獲された。ラツコは人間に見つかったらすべて捕獲されるといわんばかりの獲られ方で、一世紀も経ないで絶滅に瀕した。それに続いてオットセイの大虐殺が一九世紀まで続き、さすがにこれでは漁業が消滅するという事に気が付き、一九一一年に日米加ソ四カ国のオットセイ保護条約ができた。海の獣だけでなく、漁業も同じ道をたどつた。日本は世界中の沿岸F を、自国からは遠洋だと称して魚を獲りまくった。国連海洋法ができて、自国に封じ込められたが、それでも沿岸の魚を獲りまくり、最近は氣息奄々たる沿岸漁業になっている。

北海道から極東ロシアにかけての鰐脚類、なかでもトドを見ていると、最近個体数を減らしているのに、北海道周辺海域では被害を激化させているのだ。普通野生動物の被害はその個体数を増やすことで起くるのだが、トドでは数が減っているのに被害が社会化し、増加しているのだ。その理由は明らかだ。人間族がトドの主食である魚、特にスケトウダラを獲りすぎたので、トドの食物が不足した。仕方なくトドは、危険を承知で、漁網に近づいてくるのだ。

シカでもサルでもトドでも問題は共通していることに気が付く。

(和田一雄『ジビエを食べれば「害獣」は減るのか』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。)

問一 傍線部ア、イ、ウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の選択肢から、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

は、アが 1 、イが 2 、ウが 3 。

- | | | | | | |
|---|-----|--|---|------|---|
| ア | トウカ | (a) 意気トウゴウする
(b) 株価がキュウトウする
(c) 文壇へのトウリュウ門
(d) 前人ミトウの業績
(e) コウトウ無稽 | イ | カラまり | (a) フクゴウ施設
(b) ジュウショウを負う
(c) ミヤクラクのない文章
(d) 古いカラを打ち破る
(e) ジョウクウの風 |
|---|-----|--|---|------|---|

- | | | |
|---|-----|---|
| ウ | コンチ | (a) サツコンの国際情勢
(b) ボツコン鮮やかな一文
(c) コンイの間柄
(d) コンを詰める
(e) カイコンした土地 |
|---|-----|---|

問二 傍線部A「資源のあり方がまったく異なる」を説明したものとして最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、 4 。

- | | |
|-----|--|
| (a) | 山の森林資源は所有権がはつきりしているが、海の漁業資源は所有権者がいない。 |
| (b) | 山の森林資源は利用価値が高く資本をかけるが、海の漁業資源は利用価値が低く資本をかけない。 |
| (c) | 山の森林資源は国民の意見が反映されるが、海の漁業資源は国民の意見が反映されない。 |
| (d) | 山の森林資源は人が手をかけないと得られないが、海の漁業資源は手をかけなくても得られる。 |
| (e) | 山の森林資源は資本をつぎ込み管理するが、海の漁業資源は資本をつぎ込まず管理もしない。 |

問三 傍線部B「こびりついた」から読み取れる筆者の気持ちや考え方として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、5。

- (a) 解決できず苦しんでいる。
- (b) 寝ても覚めても考えている。
- (c) 強く心に残って忘れられない。
- (d) 何かというと思いつかれる。
- (e) 面倒なので、本当は消してしまいたい。

問四 空欄Xに入る語句として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、6。

- (a) 原因療法
- (b) 対症療法
- (c) 健康指導
- (d) 処方箋
- (e) 塗り薬

問五 傍線部C「人間族」という言い方からわかる筆者の考え方として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。

解答番号は、7。

- (a) 人間はあくまでも生物の一種である。
- (b) 人間は生物の中で特別である。
- (c) 人間は他の生物を支配している。
- (d) 人間はサル族とは異なる。
- (e) 人間は知恵を発達させた生物である。

問六 空欄 Y

に入る語句として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、8。

- (a) ざる
- (b) 湿地
- (c) 谷底
- (d) もやし
- (e) 幽霊

問七 傍線部D「両者の知恵の出しどころ」という表現からわかる筆者の考えを説明したものとして最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、9。

- (a) 人間と野生動物の共存は、企業と官僚の両者が協議して知恵を出して取り組んでいけば、可能である。
- (b) 人間と野生動物の生きる知恵が現在の問題を引き起こしたのだから、両者の知恵を発揮すればその解決も可能である。
- (c) 人間の知恵は自然を変えたが、野生動物の知恵は自然を変える力を持たないので、人間主導で共存の道を探るべきだ。
- (d) 人が減ると野生動物が増えるので、人口減少が起こらないように知恵を出し、両者をコントロールすることが大切である。
- (e) 野生動物が知恵を使って徐々に人間生活を脅かすのに対抗して、人も知恵を發揮して生活を防御しなければならない。

問八 傍線部E「海でも同じような事件が続いていた」を説明したものとして最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、10。

- (a) 人間が山では木を切り、海では魚を獲った結果、林業や漁業が廃れ人間の生活に影響が出ている。
- (b) 人間が山では観光開発を、海では毛皮貿易を行った結果、自然環境が破壊されてきた。
- (c) 人間が山でも海でも野生動物の生息環境を破壊した結果、動物が絶滅の危機に瀕している。
- (d) 山でも海でも野生動物が乱獲され、人間と野生動物の共存が大きな課題となっている。
- (e) 人間が山では木を植えたり切つたり、海では魚を養殖したり獲つたりと、勝手なことをやり続けている。

問九 傍線部F「息息奄々たる」の意味として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、11。

- ① あまり稼げない
- ② 長く引き継がれていく
- ③ 将来的には消えてしまう
- ④ 援助や支援が必要な
- ⑤ 今にも消えてなくなりそうな

問十

傍線部G「問題は共通している」とはどういう意味か、それを説明したものとして最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号

をマークしなさい。解答番号は、12。

- ① 野生動物による被害は、野生動物の個体数が増加することによつて起ころる。
- ② 野生動物による被害は、野生動物を食べる習慣が無いことによつて増幅している。
- ③ 野生動物による被害は、生物群集の生態系を人間が全く考慮しないことから起きている。
- ④ 野生動物による被害は、これらの野生動物の消滅によつて無くなっていく問題である。
- ⑤ 野生動物による被害は増え続け、被害を無くすための実効的な対策が見えない。

次の文章を読んで、後の問一～八に答えなさい。

三月になつた。或る午後、私がいつものようにぶらつと散歩のついでにちょっと立ち寄つたとでも云つた風に節子の家アをオトズれると、門をはいつたすぐ横の植え込みの中に、労働者のかぶるような大きな麦稈帽むぎわらぼうAをかぶつた父ハサミが、片手に鍼はさみをもちながら、そこいらの木の手入れをしていた。私はそういう姿を認めると、まるで子供のように木の枝を搔き分けながら、その傍そばに近づいていって、二言三言挨拶の言葉を交わしたのち、そのまま父のすることを物珍しそうに見ていた。——そうやって植え込みの中にすっぽりと身を入れていると、あちらこちらの小さな枝の上にときどき何かしら白いものが光つたりした。それはみんな苔つばみらしかつた。……

「あれもこの頃はだいぶ元気になつて来たようだが」父は突然そんな私の方へ顔をもち上げてその頃私と婚約したばかりの節子のことを言い出した。
「もう少し好いヨウキになつたら、転地でもさせてみたらどうだろうね？」

「それはいいでしようけれど……」と私は口ごもりながら、さつきから目の前にきらきら光つている一つの苔がなんだか気になつてならないと云つた風をしていた。

「何處ぞいいところはないかとこの間うちから物色Bしとるのだがね——」と父はそんな私には構わずに言いつづけた。「節子はFのサナトリウムなんぞどうかしらんと言うのじやが、あなたはあそこの院長さんを知つておいでだそうだね？」

「ええ」と私はすこし上の空でのよう返事をしながら、やつとさつき見つけた白い苔を手もとにたぐりよせた。

「だが、あそこなんぞは、あれ一人で行つて居られるだらうか？」

「みんな一人で行つているようですよ」

「だが、あれにはなかなか行つて居られまいね？」

父はなんだか困つたような顔つきをしたまま、しかし私の方を見ずに、自分の目の前にある木の枝の一つへいきなり鍼を入れた。Cそれを見ると、私はどうとう我慢がしきれなくなつて、それを私が言い出すのを父が待つていてしか思われない言葉を、ついと口に出した。

「なんでしたら僕も一緒に行つてもいいんです。いま、しかけている仕事の方も、丁度それまでには片がつきそうですから……」

私はそう言いながら、やつと手の中に入れたばかりの苔のついた枝を再びそつと手離した。それと同時に父の顔が急に明るくなつたのを私は認めた。
「そうしていただけたら、一番いいのだが、——しかしあなたにはえろう済まんな……」

「いいえ、僕なんぞにはかえつてそう云つた山の中の方が仕事ができるかも知れません……」

それから私達はそのサナトリウムのある山岳地方のことなど話し合っていた。が、いつのまにか私達の会話は、父のいま手入れをしている植木の上に落ちていった。二人のいまお互に感じ合っている一種の同情のようなものが、そんなとどりとめのない話をまで活気づけるように見えた。……

「節子さんはお起きになつているのかしら？」しばらくしてから私は何気なさそうに訊いてみた。

「さあ、起きとるでしよう。……どうぞ、構わんから、其処からあちらへ……」と父は鍼をもつた手で、庭木戸の方を示した。私はやつと植え込みの中を潜り抜けると、簾がからみついて少し開きにくい位になつたその木戸をこじあけて、そのまま庭から、この間まではアトリエに使われていた、離れのようになった病室の方へ近づいていった。

節子は、私の来ていることはもうとうに知つていたらしいが、私がそんな庭からはいつて来ようとは思わなかつたらしく、寝間着の上に明るい色の羽織をひっかけたまま、長椅子の上に横になりながら、細いリボンのついた、見かけたことのない婦人帽を手でおもちゃにしていた。E

私がフレンチ扉ごしにそういう彼女を目に入れながら近づいて行くと、彼女の方でも私を認めたらしかつた。彼女は無意識に立ち上ろうとするような身動きをした。が、彼女はそのまま横になり、顔を私の方へ向けたまま、すこしきまり悪そうな微笑で私を見つめた。

「起きていたの？」私は扉のところで、いくぶん乱暴に靴を脱ぎながら、声をかけた。

「ちよつと起きてみただれど、すぐ疲れちゃつたわ」

そう言いながら、彼女はいかにも疲れを帶びたような、力なげな手つきで、ただなんとすることもなしに手で弄んでいたらしいその帽子を、すぐ脇にある鏡台の上へ無造作にほうりなげた。が、それはそこまで届かないで床の上に落ちた。私はそれに近寄つて、殆ど私の顔が彼女の足のさきにくつつきそうになるように屈み込んで、その帽子を拾い上げると、今度は自分の手で、さつき彼女がそうしていたように、それをおもちゃにし出していく。

それから私はやつと訊いた。「こんな帽子なんぞ取り出して、何をしていたんだい？」

「そんなもの、いつになつたら被れるようになるんだか知れやしないのに、お父様つたら、きのう買っておいでになつたのよ。……おかしなお父様でしちょう？」

(堀辰雄『風立ちぬ』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。)

(注) サナトリウム——結核など長期的な療養をするための療養所。

問一 傍線部ア、イの漢字と同じ漢字を含むものを、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

アが 13 、イが 14 。

思わずキツモンする口調になつた

今度お宅にウカガいます

遠慮はムヨウだ

気分がコウヨウする

電池のヨウキヨク

チユウヨウの精神を重んづる

ヨウショクに就く

ア オトズれ
未踏の地域をタンケンする
諸国をタンボウして歩く

目的地をタズねあてた

イ ヨウキ
チユウヨウの精神を重んづる

ヨウショクに就く

問二 傍線部A「父」とは誰の父親と考えたらよいか。最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

15。

- (a) 「私」の父親
- (b) 節子の父親
- (c) 「私」と節子の父親
- (d) 「私」の父親でも、節子の父親でもない
- (e) 不明である

問三 傍線部B「物色」するはどういう意味か。意味を表しているものとして適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、16。

- (a) 何が何でも手に入れようとすること。
- (b) 候補を色分けして考えること。
- (c) 人に聞くこと。
- (d) 探すこと。
- (e) 交渉すること。

問四

傍線部C「それを見ると、私はとうとう我慢がしきれなくなつて、それを私が言い出すのを父が待つてているとしか思われない言葉を、ついと口に出した」の「ついと」の代わりとなる言葉として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、17。

- (a) ゆっくりと
- (b) いきなり
- (c) とうとう
- (d) ためらいがちに
- (e) 早口に

問五 傍線部D 「が、いつのまにか私達の会話は、父のいま手入れをしている植木の上に落ちていった」とはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、□18。

- (a) 二人の会話が盛り上るることはなく、会話が植木に吸い込まれたかのようだつたということ。
- (b) 二人の節子についての会話を、すべて「父」が引き受けたということ。
- (c) 二人の節子についての会話が、より深刻なものになったということ。
- (d) 二人の会話の話題が、より現実的な、身近な話になつたということ。
- (e) 一人の会話の話題が、植木についての話になつたということ。

問六 傍線部E 「私がそんな庭からはいつて来ようとは思わなかつたらしく」について、「そんな」の表す意味として最も適切なものを、次の選択肢

から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、□19。

- (a) 人が通りそうもない場所であるという驚いた気持ち。
- (b) 玄関から入らないのは非常識であるという気持ち。
- (c) 通りにくいところをわざわざ通つてきてくれたことに対する感謝の気持ち。
- (d) まさか庭から入つてくるとは思わなかつたという驚いた気持ち。
- (e) 特に思い入れはなく、「その」と同じ使い方。

問七 庭の木についている「苔」に関する表現から読み取れる「私」の思いとして、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、20。

- (a) 節子の病気の回復を願っている「私」が、春というスタートの季節に春の象徴でもある苔に願いを託している。
- (b) 節子の療養のことが気がかりで来たのだが、それを悟られたくないので、あたかも苔のことが気になつてしまふがいい風を装っていた。
- (c) きらきら光っている苔に興味を持ち、どのような花が咲くのか楽しみで仕方ない気持ちを表している。
- (d) 節子の病気を悲観してはいるが、それを表に出さないように見せるために、あたかも苔のことが気になつてしまふがいい風を装っていた。
- (e) 節子を手に入れたいと願っている「私」が、その思いを苔を手にすることで紛らわそうとしている気持ちを表している。

問八

「私」について、彼の言動から読み取れる人物像に関する説明として、適切でないものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、21。

- (a) 遠回しにものを言う傾向がある。
- (b) 周りに合わせながら行動している。
- (c) 少々荒っぽいところがある性格である。
- (d) すぐく気を遣うタイプである。
- (e) 考えていることを気付かれないように演技することが多い。

次の文章は『曾我物語』の一節である。曾我十郎・五郎の兄弟は、父の仇である工藤祐経を、將軍源頼朝が富士の裾野で催す巻狩の場で討ち取ろうと計画していた。出立の前夜、十郎は愛する虎御前に会いに行く。そこで思い余つて、仇討ちと、これが最後の対面になるであろうことを告げてしまう。本文は夜が明けて別れる場面から始まる。これを読んで、後の問一～問六に答えなさい。

十郎、馬をひかえて、「今少しも送りまゐらせたく候へども、今朝、疾く出で立たんと言ひしあひだ、五郎もさだめて今は來たるらん。互ひに名残の悲しさは、いつとも同じことなるべし」とて、暇をひいてぞ別れける。さても、この世にて相見んことも、ただ今ばかりなれば、しひて名残の惜しければ、別れの涙にかき暮れて、駒もえこそ進めやらず。虎も思ひやる方なくして、^A「しばし」とばかり言ひつつ俯しぬ。さてしも尽きせぬことなれば、十郎、心強くも引き返しければ、虎はあまりに悲しく覚えて、手を挙げてぞ招きける。力及ばず、また引き返し、駒を並べて立ちけれども、互ひにものも言わず。

ややしばらくありて、十郎、涙を押へて申しけるは、「心の内、ただ推し量り給ふべし。ⁱさればとて、ここにて日を暮らすべきにもあらず。ひとへに、一仏淨土に生まれ合はんと祈り給ふべし。来世をこそ頼むべけれ」とて、

i 紅のふり出て嘆く涙には袂たもとよりこそ色まさりけれ

虎、

ii 紅の恋の涙のいかなれば果ては朽葉くわ葉と袖をなすらん

かくて時も移りければ、力及ばず彼方此方へ引き別れぬ。互ひに後ろを顧みて、共に涙にむせびける。やうやく別れ行くほどに、山さへ中に隔りて、そなたの空の恋しさは、いづれも同じ心にて、夢の道行く心地して、虎は大磯に帰りつつ、衣引き被かづき伏しまろび、泣くよりほかのことぞなき。^(注)傍の君どもこれを見て、「いかに、虎御前は十郎殿に捨てられ給ふか」と言ひければ、^C「捨てらるるは世の常の習ひなり。これはまた」とばかり言ひも果てず、ただ引き被きてうち伏しぬ。

ただ、この道の迷ひのみ、高きも賤しきも、智あるも愚なるも、替ることなき世の習ひ、猛き武士、賢き公も迷ふ例は多かりき。まして常ならぬ別れなれば、^D道理に過ぎてぞ見えにける。

iii 夜もすがら眺めてだにも慰まん明けてみるべき人の影かはと獨りかこちて居たりける。

(注) 傍の君ども——虎御前の遊女仲間。

(『曾我物語』による)

問一 傍線部ア、イ、ウの解釈として最も適切なものを、次の各群の選択肢からそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

は、
ア
が

22

、
イ
が

23

、
ウ
が

24

23

24

悲しみを紛らわせる方法がなくて

気持ちを推察したところで

気持ちを共有する方法がなくて

今さらどうしようもないのでは

ア 思ひやる方なくして (c) 思いをはせることができなくて

1

別れるのが辛いからといつて

二八

(e) 怒りをおさえることができなくて

別れるのが定めなので

ウ 独りかこちて

{ (c) (b) (a) }

一人で固まつて
一人で嘆いて
一人で思い出して

(e) 一人で固まつ
(d) 一人で嘆いて
(c) 一人で思い出
(b) 一人で笑つて
(a) 一人で座つて

問二 傍線部A「今少しも送りまゐらせたく候へども」の文法的な説明として適切でないものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、25。

25

○

- (a) 最低限の願望を表す係助詞「も」が用いられている。
- (b) 尊敬語の「まるる」が用いられている。
- (c) 願望の助動詞「たし」が用いられている。
- (d) 丁寧語の「候ふ」が用いられている。
- (e) 確定条件を表す接続助詞「ども」が用いられている。

問三 傍線部B「互ひにものも言わづ」との状態になる理由として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解

答番号は、26。

- (a) 互いに気持ちを理解してはいるが、馬に乗ったままで話をすることもままならず、もどかしい思いを抱いているから。
- (b) 互いの気持ちが分からぬままであるため、別れが辛く、どのように言葉をかけて良いのか分からないから。
- (c) 互いの気持ちが分からぬままである上に、馬に乗ったままの状態であるため、言葉のかけようがないから。
- (d) 互いの気持ちを理解してはいるが、どうして別れなければならないのか分からず、困惑している状態だから。
- (e) 互いの気持ちを理解してはいるが、それでもなお別れが辛く、かける言葉が見つからない状態だから。

問四 傍線部C「『捨てらるるは世の常の習ひなり。これはまた』とばかり言ひも果てず、ただ引き被きてうち伏しぬ」とあるが、このように表現さ

れる理由として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、27。

- (a) 仲間が心配してくれてているのは有り難いながらも、自分の抱いてる悲しみは言葉にはできないほどであり、説明ができないから。
- (b) 父の仇討ちという十郎の目的のために辛い別れをしてきたばかりなのに、捨てられたなどというありふれた解釈をされて腹立たしかったから。
- (c) 十郎が心変わりしたなどというようなよくある話ではなく、仇討ちのために泣く泣く別れたのだが、そのことを話すわけにはいかないから。
- (d) 愛する人に捨てられた悲しみや哀れさなどは他人に分かるはずもないのに、分かつたような物言いをされて不快に感じたから。
- (e) 十郎との別れは事実であるが、出会いから別れに至るまでの過程は他人が知るはずもなく、それを説明するのもめんどくさく思つたから。

問五 傍線部D「道理に過ぎてぞ見えにける」とあるが、このように表現される理由として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、28。

- (a) 恋の道の迷いは、高い身分の者であれば手段を講じて対応することができるが、遊女である虎御前にはそれが叶わず、悲嘆にくれるのもつともなことだから。

(b) 恋の道の迷いからは、どのような身分の者であっても必ず救われると言っているが、普通の別れをしていない十郎と虎御前には適応されず不安に感じているから。

(c) どのような身分の者であっても道に迷うことはあるが、十郎と虎御前は普通の別れ方をしていないため救われることもないと落胆しているから。

(d) 恋の道の迷いは、どのような身分の者であっても迷うものだと言われるが、まして十郎と虎御前は普通ではない別れ方をしているので、嘆くのはもつともなことだから。

(e) どのような身分の者であっても恋の道の迷いからは抜けられず、遊女である虎御前と武士である十郎も例外ではないため、どのようにすべきかと悩んでいるから。

問六 i、ii、iiiの和歌の解釈として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、29。

- (a) 血の涙によつて袖が染まつてゆくというiの歌と、どうして血の涙が袖を朽葉色にするのだろうと応えたiiの歌を経て、生きて再び会うことのない十郎の面影を心に留めようというiiiの歌を詠んだ。
- (b) 血の涙が流れるよりも別れの辛さがまさるというiの歌と、血の涙はすでに枯れてしまつたと応えたiiの歌を経て、生きることに絶望し、来世での十郎との再会を願うiiiの歌を詠んだ。
- (c) 袖の紅の色よりも濃い血の涙を流していると嘆くiの歌と、袖が朽葉色になるほどの血の涙を流したと応えたiiの歌を経て、思うに任せない自らの運命に絶望したiiiの歌を詠んだ。
- (d) 別れの辛さのために涙に血がにじみそうだというiの歌と、すでに多くの涙を流したせいで朽葉色の涙しか出ないと応えたiiの歌を経て、断ち切ることのできない思いを抱く苦しみのiiiの歌を詠んだ。
- (e) 別れたくないという思いを血の涙に仮託したiの歌と、それと同じ思いでいるために血の涙が流れ続けてすでに朽葉色になつていると応えたiiの歌を経て、十郎が未だ近くにいるかのような錯覚に陥ったiiiの歌を詠んだ。

次の文章を読んで、後の問一～八に答えなさい。（設問の関係上、返り点、送り仮名を省いたところがある）

（設問の関係上、返り点、送り仮名を省いたところがある）

趙君覗為吉水宰(注1)清澹醇古有古循吏風百姓呼為趙仏子(注2)(注3)方(注4)賴卒之擾(注5)王師(トシテ)

出征(ス)往返皆道其境(ニ)供億(タニ)不周而卒將(カント)聞下其為人無所需求而去(ルヲ)

其母卒于官貧無以殮一囊中之綿不能具一衣郡守遺金十兩以為帰資(クシテ)(モトメル)

君覗謀之婦曰君所受金才十両他日郡帑之籍數寧止(マラン)是君奈何冒(ス)

其名遂却不受後得旧俸百余千乃歸道茶陵(ニ)たうのもとむるところとな

る君覗曰我無他物僅有銀數両以獻幸容我護喪歸葬(スルヲ)盜熟視之驚曰

「乃趙軍使邪(ナリ)」羅拜謝罪且曰我輩知軍使名前有他盜恐終不免送之出(ト)

其境君覗往嘗宰茶陵(ニ)其所至感人如此(ノ)

（曾敏行『独醒雑志』卷六）

(注)

- | | | |
|---|------|-----------------------------|
| 1 | 趙君覲 | 宋代の人の名。姓が趙。名が君覲。軍使の官になつた。 |
| 2 | 吉水 | 地方の長官。または、長官になること。 |
| 3 | 宰 | 地名。中国江西省にある。 |
| 4 | 贛 | 江西省の総称。 |
| 5 | 擾 | 騒動。 |
| 6 | 供億 | 貧しい人に施して、安心させること。 |
| 7 | 殮 | かりもがりをする。死体を棺に収めたまま、安置すること。 |
| 8 | 郡帑之籍 | 郡のかねぐらの帳簿。 |
| 9 | 羅拏 | 並んで拝礼する。 |

問一　波線部A「為人」の読みとして、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、 。

- (a) ためひと
- (b) ひととなる
- (c) いにん
- (d) ひとのため
- (e) ひとつなり

問二　傍線部B「數寧止是」の解釈として、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、 。

- (a) 退職金はこれよりもたくさんもらえるはずですわ。
- (b) 退職金はこんなにたくさんになるはずがございません。
- (c) 退職金は一体どのくらいの金額になるのでしょうか。
- (d) 退職金はひよつとしたらもらえなくなるかもしれません。
- (e) 退職金は支給するための勤務年数が不足してますわ。

問三　波線部C「奈何」の読みとして、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、 。

- (a) いかんせん
- (b) いかんぞ
- (c) なんすれぞ
- (d) なんなんぞ
- (e) いづくんぞ

32

。

31

。

30

。

問四 傍線部D「冒其名」の解釈として、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

33

- (a) 名誉であふれかえる。
- (b) 名目的な罪を犯す。
- (c) その官職に抵触する。
- (d) その名前で冒險をする。
- (e) 別の名前を偽る。

問五 傍線部E「百余千」の具体的な金額として、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

34

- (a) 金十両
- (b) 金數両
- (c) 銀十両
- (d) 銀數両
- (e) わからない

問六 傍線部F「たうのもとむるところとなる」を元の漢文に直して返り点をつけた場合に、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

35

- (a) 盜邀所
- (b) 為盜邀所
- (c) 所盜邀為
- (d) 盜所レ邀為
- (e) 為盜所レ邀

問七 傍線部G「不免」の後ろに来る目的語として、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

36

- (a) 葬
- (b) 罪
- (c) 名
- (d) 盗
- (e) 境

問八 傍線部H「其所至感人如此」の意味として、最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

37

- (a) 盗賊のような最低な人びとにまで慕われたということ。
- (b) 金がなくて、盗賊に頼らざるを得なくなつたということ。
- (c) 戦乱の多い地方では、官吏でも貧しいと見のがしてくれるということ。
- (d) 聰明な婦人の意見に従つた方が良いということ。
- (e) 親孝行のために葬礼を行うことは盗賊までも感動させるということ。

